

長野県立歴史館 令和8年度秋季企画展 県成立150年・県史編さん開始記念

「長野県150年のあゆみ～県民の“お宝”公文書の世界～」を開催します

長野県立歴史館では、令和8年度秋季企画展「長野県150年のあゆみ～県民の“お宝”公文書の世界～」を開催します。  
これに先立ち、オープニングセレモニーを行います。

## 1 オープニングセレモニー

- 日 時 令和8年10月3日(土) 9時30分から10時30分まで
- 会 場 長野県立歴史館 2階 閲覧室
- 出席者 安曇野市文書館長 山下 泰永 氏 長野市公文書館長 倉島 康嘉 氏  
東御市文書館長 深井 芳信 氏 松本市文書館長 逸見 和行 氏  
上田市公文書館長 浅野 寿次 氏 長和町文書館長代理 長井 真樹 氏  
長野県議会議員 竹内 正美 氏  
長野県史編さん準備会構成員総括 伊藤 純郎 氏  
長野県知事 阿部 守一

## 2 一般公開

- 開催期間 令和8年10月3日(土) から11月8日(日) まで  
〔休館日 月曜日(祝日は開館)、及び祝日の翌日〕
- 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)
- 観 覧 料 企画展のみの場合：一般300円、大学生150円  
(高校生以下、18歳未満、県内に所在する大学の学生等は無料)

## 3 関連行事

- 講演会、講座、イベント等を開催します。  
内容や日時の詳細は歴史館ホームページをご覧ください。 <https://www.npmh.net/exhibition/>

歴史館ホームページ ⇒



### 展示の見どころ

現在の長野県が誕生して今年で150年。本企画展ではこの150年のあゆみの中から、主に明治から終戦までの「近代」に焦点を当てます。展示の中心となるのは、1万冊を超える県宝「長野県行政文書」。

明治から終戦直後にかけて県が作成・保存してきた公文書で、県の施策や社会の変化、人々の暮らしの様子を今に伝える、貴重な記録(アーカイブ)です。

全国屈指の規模を誇る「長野県行政文書」を手がかりに、近代という時代がどのように現在の長野県へとつながっているのかを探ります。あわせて、長野県の戦後80年についても、写真などで振り返ります。

#### 【展示資料】

- 「大日本帝国憲法」(複製) 国立公文書館蔵
- 「大正15年、警察署廃止に抗議する人びと」 警務写真帳 当館蔵
- 「中央線施設の決定」 鉄道施設法 国立公文書館蔵
- 明治天皇巡行に関する長野県権令(のち県令)・檜崎寛直の上申書 当館蔵
- 普通選挙法成立の閣議決定文書 国立公文書館蔵
- 長野県初の洋式道路橋・上田橋設計図(複製) 当館蔵
- 昭和天皇の即位に際して県が作成した土器 当館蔵
- 日清戦争後、県内の学校に配布された清国の軍服 当館蔵

#### 【問合せ先】

担 当 県民文化部文化振興課文化財係 赤津、田村  
電 話 026-235-7382(直通)  
026-232-0111(代表) 内線3578  
E-mail bunkazai@pref.nagano.lg.jp

#### 【問合せ先】

担 当 長野県立歴史館総合情報課 村石、飯島  
電 話 026-274-3991  
FAX 026-274-3996  
E-mail rekishikan-sogojoho@pref.nagano.lg.jp